

大村火力発電所跡地にメガソーラー 建設の推進に市の支援を！

辻議員

(1) 郡川河川整備計画の今後の進捗について

国交省においては、今年度より補助金を廃止し、新たに社会資本整備総合交付金として創設され予算化されたところであるが、郡川河川整備の進捗についての影響はどうか？

(2) 九州電力大村火力発電所跡地のメガソーラー計画の推進について

メガソーラー建設計画

都市整備部長(1)

国交省においては、公共事業費の削減というなかで20%程度の事業費が縮減されているが、今回の社会資本整備総合交付金に変わったことにより、事業の進捗、事業費の予算割り当てについて今までどおり変更はないと聞いている。

市長(2)

九州電力大村発電所跡地へのメガソーラー建設計画については大変な関心を持っており、ぜひ誘致したいと願っている。この件については、昨年9月に九州電力がメガソーラーを建設すると

については3月末に発表されるところだったが、平成24年度にずれ込み、事業が実施されると聞いている。メガソーラー建設計画の申請について市と九州電力の調整はどうなっているのか？また、本館跡地には企業誘致の話があると聞いているが、現状はどうなっているのか？市としても、雇用の場となるので、強力に支援すべきと考える。

報道され、市としても、昨年12月と今年の3月末に長崎県とともに九州電力に対し要望を行った。具体的な建設計画は九州電力で検討されていると聞いているが、1万キロワットという大規模な計画である。現時点で正式な表明はなく、国の補助金の問題があることから樂觀はできないが、可能性はあると見込んでいる。今後、建設が具体化されるに当たっては積極的に協議を進めていきたいと思うが、見通しとしてはしばらく時間がかかるの

ではないかと思っている。

市長(2)

九州電力の本館跡地はしっかりとした土地であり、企業誘致の用地として利用価値がある。これまで数社に働きかけてきたが、現在、県や九州電力と連携をして具体的に進めているところである。企業名は公表できないが、九州管内の有力製造業に具体的に当たっている。来年の春ぐらいには発表ができるように懸命に努力をしているところである。

(その他の質問事項)

・市有施設の管理一元化について

・ファシリティマネジメントの取り組みについて



九電発電所跡地

計画は立てるのに、

財政負担が不明確なのはなぜだ！

村崎議員

(1) 市長の政治姿勢について

① 今期のマニフェスト検証の手法と公表について

市長が4年前に掲げたマニフェストの検証をどのように行い、どのように発表するのか。大村青年会議所が市長マニフェストの検証を行っているが、市のホームページなどに掲載したらどうか。今後、市長マニフェストを検証する団体が増えてくると思う。

② 県立図書館誘致における財政負担について

県立図書館の誘致候補先に、大村駅前を挙げて

いる。大村駅前だと市民会館、市立図書館の建て替えを余儀なくされる。市長は建て替えを明言されたが、財政負担を想定しての発言なのか。財政負担額はいくらなのか明確にするべきではないか。また、利用者へのヒアリングや説明はなされたのか。

(2) 公共施設のアセットマネジメントについて

公共施設を一元管理し、長期的に再編計画(アセットマネジメント)を整備するべきだと昨年6月議会に提案したが、その後の進捗状況は？

市長(1)

① 私自身での検証結果に関しての公表は今のところ考えていないが、マニフェストとして掲げた公約や検証結果について公表することはいいことだと思っている。現在、大村青年会議所の検証結果を市のホームページ等で公表できないか検討している。

市長(2)

② 駅前に県立図書館がきた場合、市民会館、

市立図書館、史料館、子ども科学館の再配置ということを考えていかなければならない。そういった中で、これらの施設を別地に配置するか、合築にするか、また市民会館についても、大村市としてどれくらいの座席数が適当なのかということも検討しなければならぬが、今の段階でその方向性を見定めることは非

財政部長

昨年の8月に庁内会議を設置し、その中で各公共施設の規模、過去の改修の経歴、市民ニーズ、今後の考えなどを調査した。現在、ある程度集約できたので、その整理を行っているところである。今後、それを材料として議論を進めていく段階である。今年度については、具体的な取り組みを進めるための基本方針を策定したいと考えている。